

# 平成22年度 少子化対策関連予算のポイント 50億円

～ こどもを生き育てやすい環境づくりに向けて ～

## ●安心こども基金の活用 24事業 9.6億円

①保育サービス等の充実	211,260千円	( 保育所等緊急整備事業費補助金	42,375千円	㊦認定こども園推進事業費	147,220千円 など)
②地域子育て支援の充実	493,146千円	(㊦地域子育て創生事業費補助金	400,000千円	㊦放課後子どもプラン学習環境づくり支援事業費	44,330千円 など)
③ひとり親家庭等への支援の拡充	119,001千円	( 母子家庭等自立支援事業費	111,523千円	㊦託児サービス提供事業費	7,478千円)
④社会的養護の拡充	140,383千円	(㊦民間入所施設緊急整備事業費	125,062千円	幅多児童相談所費	8,092千円 など)

## ●ライフステージに応じた総合的な少子化対策の推進

### 結婚

結婚を望む独身男女の出会いのきっかけづくりを応援

#### ㊦ こうち出会いのきっかけ応援事業

- (7,093千円→9,519千円)
- ・市町村や企業の複合体等が実施する出会いのイベントへの助成
  - ・県主催による交流会の開催
  - ・官民協働による出会い応援団の推進
  - ・出会いのきっかけ応援サイトの作成
  - ・地域で独身者を支援するボランティアの養成



### 妊娠～出産期

県民だれもが安心して、妊娠・出産できる環境づくり

#### 妊婦健康診査支援基金事業

(196,729千円→187,860千円)

- ・妊婦健診9回分を公費負担
- ・妊婦健診受診の啓発

#### ㊦ 母体管理支援事業

(0→7,037千円)

- ・全妊婦対象の意識調査の実施
- ・市町村の妊婦健診未受診(中断)者等への訪問事業への助成

#### 周産期医療体制整備事業

(76,903千円→54,735千円)

- ・産科医等を確保するため分娩手当を支給する医療機関を支援
- ・助産師外来等の開設支援
- ・未熟児等在宅ケア体制の整備
- ・NICUの新生児を担当する医師に手当を支給する医療機関を支援

#### 不妊治療費助成事業

(48,160千円→30,166千円)

- ・不妊治療への助成



### 育児・子育て期

子育てや親育ちへの支援

#### ㊦ 地域子育て創生事業費補助金

(0→400,000千円)

- ・地域の実情に応じた創意工夫のある子育て支援活動への助成

#### ㊦ 託児サービス提供事業費

(0→7,478千円)

- ・ひとり親が就業訓練を受ける際の託児サービスの実施

#### 救急医療対策推進事業費

(4,614千円→4,569千円)

- ・休日・夜間の小児患者の保護者の不安を軽減するため、小児救急電話相談を実施

#### 多子(3子以降)世帯への子育て支援

#### 多子世帯保育料軽減事業費補助金

(20,092千円→98,157千円)

- ・第3子以降3歳未満児の保育料の無料化(軽減)

#### 乳幼児医療費補助金

(477,929千円→494,773千円)

- ・第3子以降の就学前の幼児の医療費を原則無料化

#### ㊦ 放課後子どもプラン推進事業費

(281,266千円→364,272千円)

- ・放課後児童クラブ、放課後子ども教室の設置促進と学習活動の充実

#### 保育サービス促進事業費

(336,937千円→306,657千円)

- ・地域のニーズに応じた保育サービスや子育て支援の充実に向けた取組を支援

#### ㊦ 親育ち支援推進事業費

(4,471千円→23,690千円)

- ・乳幼児期におけるよりよい親子関係の構築を目指した支援

#### 働き方の見直しや仕事と家庭の両立支援

#### ㊦ 次世代育成支援事業費

(1,724千円→3,993千円)

- ・次世代育成支援に取り組む企業の認証や仕事と家庭の両立の推進など、子育てしやすい職場環境づくりを推進

### 広報啓発

#### ㊦ 少子化対策県民運動推進事業費

(7,035千円→26,911千円)

- ・子育て応援の店の普及・促進
- ・子育て応援情報紙やCMによる地域での支えあいなどの発信
- ・子育て応援フォーラムの開催
- ・少子化対策推進県民会議の活動の促進

#### 結婚や子育てに希望の持てるあたたかな社会

#### ㊦ 子育て支援総合推進事業費

(0→5,095千円)

- ・出産、子育てに関する不安を解消するため、子育て情報の発信と「早ね早おき朝ごはん」県民運動の推進